



まちのサークル VOL34

国見民話の会

プロフィール

- ・代表者 内池和子
- ・活動日 毎月第4木曜日
午前9時30分から
- ・主な活動場所 観月台文化センター
- ・会員数 11人
- ・会費 3000円/年
- ・連絡先 ☎ 585-3320 内池和子

国見民話の会は、昭和49年町内有志による読書会「木曜会」から始まった会です。当時町内に在任されていた福島大学教授の村上直治先生を講師に、15人集まり、近代文学から万葉集まで、先生が病で倒れられるまで二十年近くご指導いただきました。

また、昭和53年から国見町に伝わる民話の聞き語りを始め、その当時は貴重な語り部が健在で幸運だったそうです。

そんな時、日本民話の会（松谷みよ子代表）から国見町の民話の採訪をさせて欲しいとの依頼があり、教育委員会の協力を得て「民話の手帖特集号」を作る事ができたそうです。この間「木曜会」は「国見民話の会」という名称に変更、民話のテープ起こしを会員全員で進め、日本民話の会とは別の編集で「国見の民話正・続」を編集し教育委員会より出版されました。

平成13年の福島未来博では「からくり民話茶屋」の語り部として町の古老故赤間ハルさんとともに会員の皆さんも出演しました。その頃、会員の皆さんは自分たちが語り手になるとは思いもよらないことでしたが、これをきっかけに語り部の勉強を重ね、国見町いきいきサロンや福島市・県北地方などで活動しています。また、国見小学校で、伝承語りを伝えていきます。現在会員の高齢化が進んでいるのが心配とのこと。新会員の入会をお待ちしています。

笑顔のひろば

今月、スポーツで大きな成果をあげた町内の子ども達に国見町青少年育成町民会議（会長 太田久雄町長）から激励の言葉と奨励金が贈られました。きらきら笑顔でがんばっている子ども達を紹介します。



- 1 高等学校体育大会ソフトテニス県大会出場 岡田結愛（高1）、五十嵐温子（高2）、岡田稚葉（高3）
- 2 第11回全国小学生学年別柔道大会福島県予選会出場 野村俊介（小5）、岩佐成真（小6）
- 3 第50回東北高等学校バレーボール選手権大会兼NHK杯大会出場 福島商業高等学校男子バレー部
- 4 ファミマカップ第34回全日本バレーボール小学生大会福島県大会出場 国見ダイヤモンドスポーツ少年団
- 5 第40回東北高等学校ソフトボール選手権大会出場 佐藤敦也（高3）
- 6 第67回福島県総合体育大会ソフトテニス競技出場 国見ソフトテニススポーツ少年団員

たいようぐみ
浅野 礼音



くにみ幼稚園
(年中4歳児)



小さな天才たち



ほしぐみ
村上 貴彦



たいようぐみ
佐々木桃香

ほしぐみ
宇野楠恋理